

第4回 APEC 林業閣僚会議のソウル声明

2017年10月31日採択

2017年10月30日から31日に韓国ソウルで開催された第4回 APEC 林業担当大臣会合 (MMRF4) に出席した我々閣僚及び高級実務者は、

第1回 MMRF (北京 (中国) 2011年)、第2回 MMRF (クスコ (ペルー) 2013年)、第3回 MMRF (ポートモレスビー (パプアニューギニア) 2015年) の成果を踏まえ、そのモメンタムを維持するとともに、これらの会議を支援し、主催したエコノミーを認識し、

2017年 APEC のテーマ「新たなダイナミズムの創出と共通の未来の促進」を認識し、アジア太平洋地域における持続的な経済成長と繁栄を支援するという APEC の目標を達成する上での森林の重要性を再確認し、

環境、経済及び社会の発展並びに気候変動の緩和及び適応に森林が果たす重要な役割を APEC 首脳が認識していることに留意し、

2007年 APEC シドニー首脳宣言に掲げられた、2020年までに域内で少なくとも2000万ヘクタールの森林面積を増加させる野心的目標を達成するとともに、然るべき際に評価することの重要性を認識し、

違法伐採及び関連する貿易が、APEC シドニー森林目標の進展を妨げていることを認めるとともに、APEC 違法伐採及び関連する貿易専門家グループ (EGILAT) をはじめとする違法伐採及び関連する貿易に対処するための地域協力を推進する APEC の取組を認識し、

シドニー森林目標を達成するために全ての APEC エコノミーが協働して取り組む必要性を想起するとともに、あらゆるタイプの森林の持続可能な森林経営が国連持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に重要な役割を果たすことを認識し、

持続可能な森林経営及び森林を基幹とする産業が、森林に依存するコミュニティ等に収入及び雇用の機会を与える重要な役割を果たすことを再確認するとともに、メンバー・エコノミーの人々の生計及び幸福を高める上で森林が重要な役割を果たすことを認識し、

地域の経済的、環境的、社会的な発展への森林の貢献を最大化するための協力及び APEC エコノミー間のハイレベルな政策対話を含む活発な議論の必要性をさらに認識し、我々は以下を希求する。

1. 2020年までに域内で少なくとも2000万ヘクタールの森林面積を増加させる目標を達成するための取組を維持し、加速させる。
2. 各エコノミーにおいて効果的な政策を打ち出し、それを実行するとともに、EGILAT等を通じてAPECエコノミー間で情報及び優良事例を共有することにより、違法伐採及び関連する貿易に対処するための協力を強化する。
3. 森林からの収入や国際貿易の機会の増加等に寄与する、合法的に伐採された林産物の貿易を促進するとともに、これに関する効果的なスキームの優良事例及び情報を共有するため、APECエコノミー間の調整及び協力をさらに強化する。
4. 森林が重要な財やサービスを提供し続け、気候変動の緩和及び適応に一層貢献するため、森林の健全性、生産性、強靱性を向上させる。
5. 特に林業関連の雇用創出及び所得創出の観点で森林からの便益を高めるため、森林に依存するコミュニティの再生及び地域開発を促進する。
6. レクリエーション、癒し、教育及び幸福に関する、森林関連の成功している政策の実施及び共有を促進する。
7. 森林の経済的、環境的、社会的な成果への貢献を最大化するとともに森林セクターに關係する共通の課題に対処するため、FAO、ITTO、UNFF等の国際機関やAPFNet等の地域機関との将来的な活動を追求し、緊密な協力を促進する。
8. APEC首脳会議を含む関連する会議においてMMRF4の結果を共有することにより、APECの使命を達成する上での森林の重要性に関する認識を積極的に普及し続ける。